



宮城県がれき等調査

■第 40 回いなざわ植木まつり開催



新・稲沢キャンペーンレディのお二人といなッピー

4月20日から29日までの10日間、今年で第40回を迎えたいなざわ植木まつりが開催されています。稲沢市は埼玉県川口市、大阪府池田市、福岡県久留米市とともに日本4大産地の一つです。歴史は古く、嘉暦3年(1328年)に、円興寺(現矢合町国分寺)の住職柏庵禅師が、中国から柑橘苗木の生産技術を持ち帰り伝授したのが始まりで、全国的な緑化ブーム(昭和40年代~)では技術を生かした稲沢固有の特色を持つ庭園用樹木(特に形の整った枝つくりのもの)の生産が主流になりました。県では平成27年に**全国都市緑化フェア**を誘致する構想です。

■ベトナム社会主義共和国訪問

愛知県議会日越議員連盟で4月15日から20日の朝まで4泊6日の日程で大村知事と岩村議長、経済界(中経連三田会長、名商高橋会頭)の一行とベトナムを訪問しました。ハノイ入りした初日の**フック前計画投資大臣邸訪問**には民主党県議団ベトナム議連を代表して同席の後、日本国大使館でのレセプションに参加。

2日目は**トヨタモーターベトナム**にて現地の自動車産業、1/36といわれる労務費などの雇用、4カ月の出産育児休暇等の労働環境等について伺い、留学生も交えた**経済交流会**に出席。

■ベトナム社会主義共和国



3日目は航空機分野で初めてベトナムに進出した**三菱重工エアロスペースベトナム**を調査、当初名古屋へ送って検査していたものが現地検査で直接アメリカへ輸出できるように。また、**名古屋大学日本法教育センター**でレセプション&学生と意見交換会を行った後、ホーチミンへ出発。

4日目は**ホーチミン市役所**、**日本総領事館**、苛酷なベトナム戦争に愛国心を持って抵抗した場所である**クチトンネル**を訪問の後、**元留学生交流会**に出席。4年前(今もベトナムはエネルギー国です)に訪問した本多金属工業現地法人の今井社長(当時)や駐在員事務所を開設した大垣共立銀行の伊藤所長ほか多くの方にお目にかかりました。

最終日はバスで2時間半近くかかった**ベンチェ省**を訪問、**口唇口蓋裂協会**の夏目教授の案内で**病院**や**民家**なども訪問し、**古河電工**の**現地法人FAS**を訪ね、大変遅れましたが**ベトナムちゃん・ドクちゃん**の**ツーズー病院**で枯葉剤の被害を目の当たりにし、前大臣をお招きしての夕食会の後、帰国の途に。来年は**日越友好40周年**です。



●前大臣邸にて高橋(通訳)大村、三田、岩村の各氏



●経済交流会でホームステイしたホアとフンと再会



●重工ではボーイング737のフラップの組立



●ホーチミン市役所で副市長ら幹部と面談



●ツーズー病院で家庭を持つドク氏と

STEP 21 県政

2012H24

REPORT



民主党県議団 すずき純

鈴木じゅん事務所 〒492-8229 稲沢市稲島 11-24
Tel 24-6600 Fax 23-0791 juneri@na.commufa.jp

1204

■議員派遣宮城県調査(2012.3.29~30)

3月29~30日の1泊2日で宮城県へがれき等の調査に行きました。初日は**石巻市**における災害廃棄物の現状と課題について、石巻市生活環境部災害廃棄物対策課村上課長に現地を案内頂き、がれきの1次置き場の用地確保、県が建設している焼却施設、現地の要望(可燃の木材類よりバイオマスプラントの燃料ともしている)置や飼肥料等を広域処理)等同う。課自体が昨年新設され各部署からスタッフが招集されているが、漸く動き出してきて少し落ち着いてきたとのこと。

2日目の午前中は、宮城県環境生活部震災廃棄物対策課宮城技術補佐(総括担当)から**宮城県**における災害廃棄物の現状と課題について伺う。宮城県のがれき推計量は1,570万トン、県では仙台市を除き4ブロックに分け、市町村の意向を受け(災害廃棄物が一般廃棄物として扱われ市町村の処理対象となってしまうため)県への事務委託として2次仮置き場(中間処理基地)に焼却施設を建設し対応。前日に調査した石巻ブロックは推計量830万トン(47%)、中間処理施設は300トンの処理機を5基建設。また、**女川町の東京都への説明(お願い)のDVD**は、津波襲来の状況、被災者の声や町長の訴えに心を打たれる。ただ、県のマニュアルには安全基準の記述はなく、各自治体が競争して独自の基準を作ることをの無いよう国家として安全基準を明確にする必要があり、国の対応が望まれる。

午後の最初は、宮城県登米市にある**RQ市民災害救援センター**(RQ登米復興交流センター)で総本部長の広瀬氏にお会いし、先日の民主党県議団県政報告金山駅街宣時に行った募金活動等の義援金を贈呈後、**南三陸町**を案内頂き、RQが支援活動を行った被災地のリーダーの皆さんに高台移転や地域の絆、地域の再生、消防団の活動などについて貴重なお話を伺いました。

◆専決処分:一般会計補正予算(第1号)の内容

4月9日に専決された補正予算額は6億円、議会の承認については5月臨時議会で報告、承認を受ける形となります。事業の内容としては災害廃棄物受け入れ検討調査費とし、仮置き場の調査・設計、生活環境調査(ミニアセス、約2.4億円)、受入基準の検討(約0.1億円)等です。

◆災害廃棄物処理推進プロジェクトチーム設置

資源循環推進監をリーダーとした調整、環境、建設の3グループ、15名からなるPTを設置しました。



●石巻市の一次仮置き場



●悪臭を放つ量



●建設が始まっている焼却処理施設



●宮城県議会委員会室での聴取



●南三陸町の防災対策庁舎には今でも献花が



●民主党県議団県政報告金山駅街宣時の義援金を贈呈



●志津川中瀬地区の佐藤区長さんと

■第83回愛知県中央メーデー 120421in久屋大通公園

集会アピールは～社会の支え手である労働者の尊厳が再認識される、働くことに最も重要な価値を置く社会を創造し、私たちが求める社会像として、すべての働く者の連帯で、**働くことを軸とする安心社会の実現**を目指す～と結ばれています。

STEP21

イベント

4月27日老人クラブ連合会総会

5月19日高齢者ゲートボール大会

20日稲沢市消防操法大会

民主党県議団の役員(総務会長) 拝命から

4年に一度の議会海外調査の凍結や定例会の報告など改選後の混沌とした状況の中で少しずつですが進んできたのも皆さんのおかげと感謝です。新年度も柏熊新団長のもと前へ、前へ！**未来へつづくまちづくりへ** 愛知県議会議員 **鈴木じゅん**

1886年アメリカで1日の労働時間を8時間にとメーデーが始まりました

